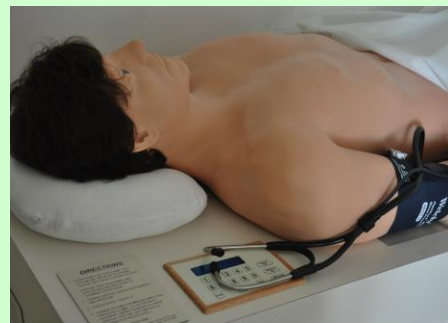


## 第231回 国際シミュレーション医療教育学会とID

- 国際シミュレーション医療教育学会の動向と  
インストラクショナルデザインの位置づけ
  - シミュレーション医療教育とは
  - 代表的なシミュレーション医療教育の国際学会
    - IMSH 2015(2015年1月)
  - シミュレーション医療教育資格(CHSE / CHSE-A / CHSOS)
    - CHSE / CHSOSの試験範囲と 問題例
  - シミュレーションセンターの認証
  - IMSHの1セッションにおける "Instructional Design"
  - (おまけ1) AMEE(欧州の医学教育学会)と ESME Online
  - (おまけ2) 第3回日本シミュレーション医療教育学会の告知

# シミュレーション医療教育とは

- いきなり「人（患者だろうと医療者だろうと）」にはやらない！
  - 安全な医療を実現するための重要なステップ
- 患者への医行為等を行う前の模擬練習
  - マネキンや模擬患者等を利用したロールプレイやタスク訓練
  - eラーニングや机上訓練による知識学習
  - VRやARを利用した仮想訓練, etc.
- 医療以外で例えるなら、
  - 自動車教習（特に場内）
  - フライトシミュレータ
  - 避難訓練



- 上：採血
- 左：気道管理
- 中央：聴診
- 右：胸腔ドレーン



# 代表的な国際シミュレーション 医療教育学会

- **IMSH** : International Meeting on Simulation in Healthcare
  - [SSH\(Society for Simulation in Healthcare\)](#) 主催
  - シミュレーション医療教育学会で最大規模
- [SESAM](#) : Society in Europe for Simulation Applied to Medicine
  - 3つの中では一番古くからある(20周年)
  - 中東とも共催を開始(例:UAE)
- [SimHealth](#)
  - [SimTecT](#)(航空、交通、軍など、多分野) から独立  
(SimTectは20周年、SimHealthが11周年)

# IMSH (International Meeting on Simulation in Healthcare) 2015

- シミュレーション医療教育の学会大会では最大規模
- Society for Simulation in Healthcare 主催
  - 2015年1/10～1/14 in New Orleans, LA, U.S.A.  
(修論の締め切りは1/13でした)
    - 1/10日(PM) & 1/11 (AM) : Preconference Course
    - 1/12 ~ 1/14 : Workshop & Poster
  - Workshop: 300以上
    - テーマはAdministration, Assessments等の11種類
    - ID / ISDに関するセッションも(質は別にして)複数存在
  - Poster: 4カテゴリーで268演題
    - Professor Rounds形式(基本的にはフリーディスカッション)
- [2016年は1/16～ 1/20 in San Diego, CA, U.S.A.](#) : 演題締め切りは6/3



# CHSE / CHSE-A / CHSOS

- シミュレーション教育者の認定資格
  - Certified Healthcare Simulation
    - Educator (- Advanced) / Operation Specialist
- 学会による認証
  - 書類選考(3名からの[評価表](#))
    - 4段階評価、評価のエビデンス、自由記述コメント
    - 一種のポートフォリオとして利用することも可能？
  - CBT100問(CHSE / CHSOS)
    - 2時間。Non-Nativeは時間延長可(最大で+2時間)
  - [e-Portfolio](#)(CHSE-A)
    - ショーケースポートフォリオ + 教育実践の録画(動画)





## 試験範囲 (CHSE / CHSOS)

CHSE	割合	CHSOS	割合
プロフェッショナルとしての 価値観、能力	4%	医療および シミュレーションの概念	19%
シミュレーションの 原理・原則・ 手法	34%	シミュレーションの方法と テクノロジー	34%
シミュレーションでの教育と評価	52%	医療シミュレーションの 実 践・方法・手順	17%
シミュレーション教育における 資 源と環境のマネジメント	6%	プロフェッショナルとしての 在り方(含 キャリア形成)	16%
研究者としての活動	4%	ID理論	14%

※[CHSE Blueprint](#) / [CHSOS Blueprint](#) より浅田が試訳

- いずれにも共通するのは  
「シミュレーション教育の理論」と「IDに関する知識」



## 問題例 (CHSE / CHSOS)

- ID関連 (両方)
  - Kirkpatrick の評価で最も達成しづらいものは?
  - 新しくシミュレーション実習を導入する。最初に考えるのは?
    - 学習目的, リソース (環境), マネキン, etc
- IT関連 (CHSOS)
  - HDMIとは? / MACアドレスとは?
- IP関連 (両方)
  - シミュレーションの振り返りで撮影した動画を、他の用途 (例: 別の授業) で使いたいという問い合わせへの対応
- IM関連 (CHSE)
  - 新規でシミュレータを購入する際に最も注意すべきことは?

## シミュレーションセンターの認証

- 教育の質の第三者評価 / cf. 医学教育の国際認証
- 評価表による自己評価 + 現地視察
  - 教育体制の評価・改善の参考としても利用可能？
- Core + Assessment, Research, Teaching & Education, Systems Integration の5分野
  - C: ミッション、組織運営(規約制定)、教育環境の整備など
  - A: 評価エビデンス、スタッフ育成、データ分析手法など
  - R: ミッション、研究内容の意義、実績、倫理規定など
  - T & E: 教育エビデンス、スタッフ育成、カリキュラム統合など
  - SI: 医療安全(現場との統合)



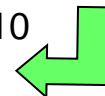


# IMSHの1セッションにおける”ID”

- 「〇〇を(絶対)使おう」という思考はNG
  - 出口と入口とのギャップを埋めるために、効果的・効率的・魅力的な学習環境をいかに提供するか・・・が本来のIDのはず。
- 参加セッション:シミュレーションのシナリオ作成
  - 学習目標の達成にあたって、「どうやったらより効果的なシミュレーションができるか」考える = “ID”
  - IDといえばIDだが・・・かなり狭義？
    - ISDの視点はおろか、「学習提供手段を変える」ことも未検討
    - 「シミュレーションありき」という思考回路
  - “ID”という言葉が一人歩きする危険性？

# AMEE : An international association for medical education

- 欧州で開催されている国際医学教育学会
  - シミュレーションに限らず、医療教育全般
  - とにかく大規模: 2014の [Program](#) / [Abstract](#)
    - 105分 x 4コマ / 日、1コマ中に並列36枠
      - シンポジウム x 3、オーラル x 13、ポスター x 8、ワークショップ x 12
    - 「e-learning」セッションだけでも10以上
    - 「Instructional Design」セッションも存在
  - 2015は別枠で「[eLearning Symposium](#)」が開催



# ESME (Essential Skills in Medical Education) Online

- これまで対面式だったコース(2日+α)がオンラインで受講可能(12週で6つのmodule)
- 基本的な流れはGSISの形式とも類似
  - 課題文献を読む
  - 自分の意見を投稿 & 相互コメント
  - 課題レポート提出
- “オプション”
  - Webinar 同期セッション(日本時間18時 or 24時)
  - 課題と関連する複数の論文



# 学会の告知

- 第3回日本シミュレーション医療教育学会  
@自治医科大学 / 2015年6月27日  
– 大会長 浅田義和
- 演題募集: 終了(6月13日まで)

